# 障害者スポーツ推進事業 事業成果報告書

# 滋賀県 2023年3月

スポーツ庁委託事業

「障害者スポーツ推進プロジェクト」(地域課題に対応した障害者スポーツ環境の整備)

#### 目次

I.	本事業における障害者スポーツの取組	ページ
II.	令和4年度の具体的な取組結果・・・・・・・・・・・・・・・・・4	ページ
1.	. 障害者理解・障害者スポーツの普及促進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ
2.	. 障害者スポーツ教室の開催による実施機会の提供5	ページ
3.	. 障害者スポーツ推進会議における意見等6	ページ
III.	. 取組による成果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6	ページ
1.		
2.	. 障害者スポーツ実践事業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6	ページ
IV.	今後の展開方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7	ページ
1.	—	
2.	. 今後の取組 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7	ページ

#### はじめに

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、引き続き多くのスポーツ活動が一部延期や中止、規模の縮小を余儀なくされたものの、コロナ禍以前のようにスポーツに親しむ環境を取り戻しつつある。

こうした中で、3年ぶりの開催となったいちご一会栃木大会に滋賀県から多くの選手を派遣し、選手・役員の方々に日頃の成果を存分に発揮いただいた。また、本県で令和7年(2025年)国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催を控えており、障害者スポーツへの機運が着実に高まっている。

本県では、スポーツを通じて障害者理解が広がるよう、総合型地域スポーツクラブ(以下、「総合型クラブ」)やスポーツ関係団体の協力のもと、平成27年度から障害者スポーツに関する取組を進めている。

この報告書は、その取組をまとめ、更に地域での障害者スポーツの取組を促進するための基礎資料とする。

#### I. 本事業における障害者スポーツの取組

#### 〈概要〉

本年度は、スポーツ庁委託事業である「障害者スポーツ推進プロジェクト」(地域課題に対応した障害者スポーツ環境の整備)を受託し、障害のある方が身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりおよび地域の課題に対応しながら持続的に障害者スポーツを実践することを目的とし、「障害者スポーツ推進事業」として、①障害者スポーツ新規実践事業(実施に当たっての課題整理)、②障害者スポーツ継続実践事業(実施機会の提供)③障害者スポーツ理解促進事業(障害者理解・障害者スポーツ振興)に取り組んだ。

障害者スポーツ実践事業では、県内 23 つの総合型地域スポーツクラブ等で障害者スポーツ教室を障害者スポーツ理解促進事業では、障害者スポーツ指導者協議会等に委託し、障害者スポーツに係る体験会・講習会を実施した。

また、様々な関係者から構成される障害者スポーツ推進会議を設置し、各クラブにおける、障害者スポーツの実践における課題や新型コロナウイルス感染症の影響下での取組の工夫について共有し、次年度に向けた取組について検討を行った。

### (事業全体のイメージ)

#### 目的:障害者が身近な地域でスポーツに取り組めるよう、地域スポーツの拠点である総合型地域スポーツクラブ等での障害者スポーツの取組の定着 を図るとともに、障害のあるなしに関わらず誰もがスポーツを楽しむ機会を設けることで障害者スポーツに対する理解促進を促す。 スポーツを通じた 身近な地域でスポーツに親しむことができる環境を整備 共生社会の実現 障害者スポーツ推進会議(実行委員会) ・委託事業の進捗管理および事業実施に対する助言や地域課題の整理 ・地域課題への対応策まとめ ○障害者スポーツの理解促進 障害者との関わり (1)障害者スポーツ理解促進事業 事業実施を通じての課題の ○障害者スポーツに関心のある方への普及事業○障害者スポーツに関心のない方への啓発事業 が少ない方 抽出・対応の共有 地域資源を用いた事業運営 指導者協議会・障害者福祉センター(2団体) の提案、コーディネート等 障害のあるなしに関わらない それぞれの立場での参画 ○障害者スポーツに参画する団体の拡充 (2)障害者スポーツ新規実践事業 障害者を支援する方 地域資源との連携・協働 ○障害者スポーツ教室等の新規開催 総合型クラブ・市町障スポ協会 3団体 ・行政(障害福祉・スポーツ) ・障害者スポーツ指導員・スポーツ推進委員 障害のある方 •特別支援学校•大学 (3)障害者スポーツ継続実践事業 ・障害福祉サービス事業所 ○障害者スポーツ教室等の継続開催 ・障害者福祉センター 県単独事業【障害者スポーツ共生社会プロジェクト】とも連携 ・リハビリテーションセンター 総合型クラブ 9団体

(事業の実施体制)					
実行委員会:参画団体名		障害者スポーツ実践クラブ(国費)			
1	公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会	1	きのもとeye's	長浜市	
2	公益社団法人滋賀県手をつなぐ育成会	2	奥びわ湖スポーツクラブ	長浜市	
3	NPO法人滋賀県精神障害者家族会連合会	3	NPO法人TSC	高島市	
4	滋賀県障害者スポーツ協会	4	ぽぽんた倶楽部	甲賀市	
5	滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会	5	NPO法人能登川総合スポーツクラブ	東近江市	
6	滋賀県スポーツ推進委員協議会	6	NPO法人多賀やまびこクラブ	多賀町	
7	滋賀県障害者自立支援協議会	7	アザックとよさと	豊郷町	
8	総合型地域スポーツクラブ連絡協議会	8	湖南ちょいスポクラブ	湖南市	
9	総合型地域スポーツクラブ	9	甲賀市パラスポーツ協会	甲賀市	
10	びわこ成蹊スポーツ大学	10	守山市障害者スポーツ協会	守山市	
11	クラブアドバイザー	11	は一と貴生川スポーツクラブ	甲賀市	
12	滋賀県立リハビリテーションセンター	12	余呉はごろもクラブ	長浜市	
		13	NPO法人こうかサスケくらぶ	甲賀市	
	障害者スポーツ理解促進事業	14	NPO法人レインボークラブ	甲賀市	
1	滋賀県障害者スポーツ指導者協議会	15	高月総合型スポーツクラブ	長浜市	
2	公益財団法人滋賀県身体障害者福祉協会	16	伴谷BANBANクラブ	甲賀市	

# Ⅱ. 令和4年度の具体的な取組結果

# 1. 障害者理解・障害者スポーツの普及促進

・ 今年度から、滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会に加え、滋賀県身体障害者福祉協会にも委託し、 地域スポーツ指導者等に対する体験会や講習会を実施した。

# 〈実績〉

# 滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会 対象:小・中学生、指導者、一般

実施日	場所	内容	参加者数
令和4年8月20日	希望が丘文化公園 (野洲)	障害者スポーツ体験会 (風船バレー・スローイングビンゴ)	62 人
令和4年9月23日	ブランチ大津京 (大津)	障害者スポーツ体験会 (卓球バレー)	85 人
令和4年12月18日	プロシードアリーナ HIKONE (彦根)	障害者スポーツ体験会 (ボッチャ・スーパーカロム)	33 人
	合計		

# 滋賀県身体障害者福祉協会 対象:指導者、スポーツ推進員

実施日	場所	内容	参加者数
令和4年12月15日	皇子が丘体育館 (大津)	体の使い方・車いすバスケ体験会	43 人
令和5年1月28日	湖南市総合体育館 (湖南)	体の使い方・フライングディスク体験会	13 人
令和5年2月26日	滋賀ダイハツアリーナ (大津)	体の使い方・車いすバスケ体験会	26 人
令和5年3月5日 長浜ツインアリーナ (長浜)		体の使い方・車いすバスケ体験会	21 人
	合計		

# □活動の様子

障害者スポーツ推進事業:理解促進事業



# 2. 障害者スポーツ教室の開催による実施機会の提供

- ・ 令和4年度は、障害者スポーツ実践(継続)として、8団体に委託して実施した。また、障害者スポーツ実践(新規)として、4団体に委託した。なお、委託先は資料2のとおり。
- ・ 継続して障害者スポーツ教室に取り組む総合型クラブでは、参加者は戻りつつある。
- ・ 団体が利用する会場がワクチン接種会場として使用や、障害福祉サービス事業所内での感染拡大の 懸念など、新型コロナウイルス感染症の影響により、完全には戻っていない状況。

# 〈実績〉

# □障害者スポーツ実践事業

<b>山障吉有スホーツ美践争業</b>					
番号	クラブ名	地域	運営方法	回数 (回)	参加者延べ 人数(人)
1	ぽぽんた倶楽部	甲賀市	福祉事業所や社会福祉協議会との連 携によるスポーツ教室	12	151
2	NPO 法人 TSC	高島市	地域の障害児向けスポーツ教室福祉 事業所との連携によるスポーツ教室	7	14
3	きのもと eye's	長浜市	福祉事業所との連携によるスポーツ 教室	13	160
4	奥びわ湖スポーツ クラブ	長浜市	福祉事業所との連携によるスポーツ 教室	9	99
5	NPO 法人能登川総合 スポーツクラブ	東近江市	福祉事業所との連携によるスポーツ 教室	12	119
6	NPO 法人多賀やまび こクラブ	多賀町	障害児放課後等デイサービスとの連 携によるスポーツ教室	5	29
7	NPO 法人アザックと よさと	豊郷町	福祉事業所との連携による出前教室 の開催・イベント実施	3	32
8	湖南市ちょいスポ クラブ	湖南市	福祉事業所等との連携によるスポー ツ教室	5	39
新 9	甲賀市パラスポー ツ協会	甲賀市	教育委員会との連携によるスポーツ 教室	9	106
新 10	守山市障害者スポ ーツ協会	守山市	一般募集や福祉事業所等との連携に よるスポーツ教室	7	95
新 11	はーと貴生川スポ ーツクラブ	甲賀市	福祉事業所等との連携によるスポー ツ教室	4	84
新 12	余呉はごろもクラ ブ	長浜市	福祉事業所等との連携によるスポー ツ教室	10	23
合計					951

# □活動の様子

# 3. 障害者スポーツ推進会議における意見等

- ・新型コロナウイルスの影響により、事業の規模縮小や延期があり、新型コロナ前の状況には戻っていない状況。
- ・総合型地域スポーツクラブによる取組に限らず、市町の障害者スポーツの取組を把握する必要がある。
- ・関係団体に情報をゆきわたらせるため、情報を集約し、取組を周知していく必要がある。
- ・障害者スポーツの実施にあたって、障害福祉部局とスポーツ部局の連携が薄まっており、連携の強化が 必要
- ・今後、障害のあるなしに関わらず参加できるイベント等が必要。

# 4. 滋賀県スポーツ課HP(しがスポーツナビ)での周知

本県で運用しているHP「しがスポーツナビ」内に障害者スポーツ特設サイトを設置し、本事業の取組を掲載し、周知を進めている。

https://shigaspo.jp/paraspo/

#### 皿. 取組による成果

#### 1. 障害者理解・障害者スポーツの普及促進

今年度、滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会に委託して実施した商業施設や公共施設での障害者スポーツの普及事業に加え、滋賀県身体障害者福祉協会に委託し、地域スポーツ指導者等に対する障害者スポーツに関する講習会を実施した。それにより、障害者スポーツに関する認知度を高めるだけでなく、継続的に障害者スポーツに携わることができる人材育成を図ることができた。

#### 2. 障害者スポーツ教室の開催による実施機会の提供

本県での障害者スポーツ推進事業は8年目となり、本事業での障害者スポーツに取り組む総合型クラブは10クラブとなった。また、今年度、市町障害者スポーツ協会から2団体の参画があり、全体で12団体での実施となった。昨年度から、4団体の拡充を図ることができ、障害者スポーツの実施環境の拡充を進めることができた。

今後、実施団体へのヒアリングで指摘があった、障害者スポーツ教室を運営する担い手(事務局員・指導者)の不足の課題について、対応方策を検討していきたい。

#### Ⅳ. 今後の展開方策

#### 1. 基本方針

引き続き総合型クラブを拠点とした障害者スポーツの実践を通して、障害のある方が身近な地域でスポーツに親しむことができる環境づくりおよび地域の課題に対応した障害者スポーツの実践に取り組むこととし、第3期滋賀県スポーツ推進計画における指標である障害者の週1回以上のスポーツ実施率の向上を図る。

#### 2. 今後の取組

今後は、本県で令和7年(2025年)に開催される全国障害者スポーツ大会の開催ならびに、大会後のレガシー創出を見据え、障害者福祉団体に限らず、多様な関係団体の実態把握、連携、実施環境の拡充を進め、継続して障害者スポーツに親しむことができる機会の充実させることで、本県におけるスポーツを通じた共生社会の実現を目指す。

また、実施団体へのヒアリングや会議等で、障害者スポーツ教室の担い手不足の課題や県全体の 障害者スポーツに関する実施状況の把握などに関する意見があり、その点を踏まえて取組を進めた い。

#### (事業実施のポイント)

①県スポーツ課HP「しがスポーツナビ」の充実

今年度、理解促進事業での取組を県HPに掲載。今後も、本事業での取組を広めていくために、県 HPとの連携を強化する。

#### ②多様な団体の参画

総合型クラブの他、行政(スポーツ部局・障害福祉部局)や大学、市町スポーツ推進委員、県・ 市町障害者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者協議会、障害福祉サービス事業所、障害者福祉 センター、当事者団体、地域のスポーツ資源などとの連携を強化する。

#### ③課題の整理・分析

取組団体における参加者の実態把握を進め、より詳細な地域課題や教室開催に係る障壁について 分析を進める。

#### 4) その他

現在市町等で行われているスポーツやレクリエーション事業の実施状況や実態を把握し、情報の蓄 積・共有を図る。

#### おわりに

本県での障害者スポーツ推進事業は8年目となり、総合型クラブを拠点とした障害者スポーツの実施環境の整備の取組が一定認知されてきた。今年度は、市に設立された障害者スポーツ協会にも参画いただき、実施環境の拡充を図った。新型コロナウイルス感染症の影響も少しずつ小さくなっており、教室開催に係る問い合わせや開催実績の伸びなどから、地域での障害者スポーツの実施環境について、潜在的なニーズがあることが伺える。

一方、障害者スポーツが、障害福祉の観点だけでなく、スポーツの観点からも議論されるようになってきたことに伴い、市町で開催されている障害のある方向けの運動・スポーツ事業が多様化している。 県として実態の把握、関係団体とのネットワークの構築に努め、スポーツ部局やスポーツ関係機関だけでなく、障害福祉部局や福祉関係機関から障害者や当事者団体等に障害者スポーツ教室の参加を働きかけていきたい。

総合型クラブでの障害者スポーツの取組については、安定的な運営ができるようになってきたところであり、実践地域を拡大していくためには、本事業のネットワークを更に活かしていく必要がある。総合型クラブが、地域での障害者スポーツのニーズとのマッチングについても積極的に促進するとともに、地域における障害者スポーツのネットワークの中心となり、障害者に対してスポーツメニューの提供やスポーツ教室を運営することで、障害のあるなしに関わらず、誰もが身近な地域でスポーツができる環境づくりに取り組んでいきたい。

#### 参老

#### 2016年(1年目)

総合型地域スポーツクラブと障害者スポーツが出会いました ~こころのバリアフリーちょこっとガイドブック~

# HP リンク

http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107310.pdf



#### 2017年(2年目)

総合型地域スポーツクラブと障害者スポーツが出会ってその後 ~心のバリアフリーちょこっとガイドブック~ 別冊

#### HP リンク

http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107312.pdf



# 2018年(3年目)

総合型地域スポーツクラブでの障害者スポーツの取組について

#### HP リンク

http://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5107313.pdf

